

GOGO 高校大学

千葉商科大学付属高校 商業科

(千葉県市川市)

千葉商科大学付属高校商業科の2年生が9月、地元の道の駅に出店する企業を紹介するフリーペーパーを発行しました。企業と一緒に商品開発をするための一歩として作ったものですが、お店の魅力を伝えようと、さまざまな工夫がちりばめられていました。

(佐藤美咲)

お店の魅力をフリーペーパーに



フリーペーパー「いちからいちかわ」の「小麦工房 ピーターパン」のページ。フリーペーパーは、道の駅いちかわや、協力店舗などで配布されています

「いちからいちかわ」と書かれたフリーペーパーを開くと、からあげ屋さんやパン屋さん、洋菓子店などのお店がそれぞれ見開きで紹介されていました。

このフリーペーパーは、商業科の2年生が取り組む商品開発プロジェクトの一環で作

「道の駅」に特産品を作るため

ったもの。商業科では2017年度から、企業の困りごとを解決するための商品開発の活動が行われています。

今年度のテーマは、市川市

内にある「道の駅いちかわ」から依頼された「道の駅に新たな特産品を作る」こと。特産品を作るにあたり、道の駅周辺の地域について知るために作ったのがこのフリーペーパーです。生徒たちは6、10人ずつのグループに分かれ、道の駅に出店する企業へ取材。一人ひとりに支給されて

いるiPadを使って、約2ヶ月かけて企業を紹介するページを作りました。

写真を大きめにレイアウトして商品をおいしそうに見せるページもあれば、企業のオンラインストアにアクセスできるようQRコードを載せているページもあるなど、各グループが工夫をこらしていま

す。

深く取材、次は商品開発

パン屋の「小麦工房 ピーターパン」のページには、人気商品のカレーパンやメロンパンの写真、やりがいについてコメントする店長の写真が目にとまります。

手がけたグループの生徒4人に話を聞くと、「真っ白な状態からお店のイメージに合うものが作れるか不安だった」と振り返ります。写真をどこに置いたらよいのか、どのような風にすれば読みやすいのかは、先生からわたされた雑誌などを参考にしながら作りました。

読みやすく、目にとまりやすいようなものを考えて作ることが難しかっただけに、福本真莉菜さんは、「完成したときは、とても達成感があった」と話します。

2年生は、フリーペーパー制作を通じて知った企業の魅力などを生かした商品開発に取り組んでいます。

商品開発に向けて宮下紗さんは、「見ためも楽しめる商品がいいな」。酒井理紗さんは「子どもから大人までおいしく食べてもらえるような定番メニューのようなものを作れたら」と、アイデアはふくらむばかり。来年2月の完成をめざします。

高校プロフィール



社会で通用する商業の知識をたくわえる商業科のほか、難関・上位大学をめざす普通科(特進選抜クラス)、中堅大学をめざす普通科(総合進学クラス)がある。今年の2学期から、省エネルギーの実現をめざした新校舎での学習が始まった。

10月8日、千葉県市川市

佐藤美咲撮影



商品開発プロジェクトが始まるにあたって、道の駅の担当者から、商品開発についての講演や、協力企業の紹介がされました。5月、千葉商科大学付属高校提供



協力企業に取材する生徒たち
千葉商科大学付属高校提供

